

サービス種別の利用者調査の実施方法等

サービス種別		対象者※1	実施方法※2
高齢者	特別養護老人ホーム	本人 ()	ヒアリング
	養護老人ホーム	本人 ()	アンケート
	軽費老人ホーム (A型・ケアハウス)	本人 ()	アンケート
	通所介護	本人 (現在利用している 登録者)	アンケート
	訪問介護	本人 (現在利用している 登録者)	アンケート
障害者 ※3	施設サービス全般	本人※4 ()	アンケート※5
	在宅サービス (居宅介護)	本人※4 (現在利用している 登録者)	アンケート※5
	在宅サービス (デイサービス)	本人※4 (現在利用している 登録者)	アンケート※5
	在宅サービス (短期入所)	本人※4 (直近1か月以内の 利用者)	アンケート※5
	在宅サービス (グループホーム)	本人※4 ()	アンケート※5
児童	保育所	保護者 ()	アンケート
その他	救護施設	本人 ()	ヒアリング

※1 対象数は原則全数とするが、実施が困難な場合、具体的に調査可能な利用者を選定するなど柔軟に対応する。その場合、対象者は事業者の協力を得ながら選定するが、恣意的な選定にならないように留意する。

※2 実施方法はサービスの種別に応じて上記のとおりとするが、利用者の実情に応じて、アンケート又はヒアリングを選択するなど、柔軟に対応する。

※3 障害者関係のサービス種別の区分は、個別評価基準の区分による。

※4 利用者調査の趣旨に鑑み原則本人に対する調査とするが、障害児に対する調査は必要に応じて保護者に行うなど、柔軟に対応する。

※5 知的障害児本人、重症心身障害児本人に対する調査は、必要に応じてヒアリングで行うなど、柔軟に対応する。